日本緑化工学会「緑化工セミナー」

技術を学べるセミナー第１回テーマ

グリーンインフラの評価と活用方法

～グリーンインフラを身近に感じる手法紹介～

開催期日　2023 年 2 月 22 日　10 時～12 時 30 分

CPD　2.5 単位

定員　300 名

日本緑化工学会は、緑地の価値を科学的に捉える研究集団です。今回、一般の方々にも分かり易く活動や研究内容について伝えてゆくことを目的に、緑化工セミナーを開催することに致しました。
第 1 回目のテーマは、現在国も推進しているグリーンインフラの評価と活用方法とし、グリーンインフラを身近に感じられる手法を紹介したいと思います。振るってご参加下さい。

プログラム（案）

10:00　開催挨拶　　日本緑化工学会会長　千葉大学　高橋 輝昌
東邦レオ株式会社　　梶川昭則（司会）

10:05　第 1 講座（30 分）　「グリーンインフラの評価と活用方法 」
～国土交通省 GI 官民連携プラットフォーム技術部会での議論を中心に～
日本緑化工学会　都市緑化技術研究部会長/石川県立大学　上野裕介

10:35　第 2 講座（30 分）　「グリーンインフラの評価と活用方法」
～アメリカ合衆国から発信される樹木評価システム i-Tree Eco の活用方法～
米国農務省 Forest Service/The Davey Tree Expert Company 平林　聡

11:05　第 3 講座（30 分）　「グリーンインフラの評価と活用方法」
～カーボンニュートラルを推進させる緑地評価システム U-green の活用方法～
東邦レオ株式会社　　和田清栄

11:35　休憩（10 分）

11:45　トークセッション（40 分）
コーディネーター　木田幸男（グリーンインフラ総研）

12:25 閉会挨拶　　日本緑化工学会企画部会長　　岩手県立大学　辻　盛生

12:30 終了

申し込み方法

セミナー集客ポータルサイト「Peatix」で下記からお申込み下さい。

https://jsrt-tech-seminar01.peatix.com/view

緑化工学会会員及び学生は、参加費及び CPD 単位取得は無料です。
会員外で一般の方は、参加費及び CPD 単位取得で 1,000 円が必要です。
CPD 単位取得は、「Peatix」で申し込み下さい。

講師紹介

講師Ⅰ　上野　裕介　（ウエノ　ユウスケ）

1977 年 愛媛県生まれ、博士(水産科学)、技術士(建設部門)
現：石川県立大学生物資源環境学部生物資源環境学部 准教授、
　　国土交通省国土技術政策総合研究所道路環境研究室 招聘研究員
佐渡島でのトキの野生復帰プロジェクトや国交省での環境アセスメント、都市の生物多様性などの業務に携わる。現在は、自然共生型の持続可能な社会形成を目指し、グリーンインフラの多面的な機能（環境、社会、経済）の評価と活用、能登半島での自然資源を活用した地域活性化など、文理融合型の社会-生態システムの理解と社会実装に取り組んでいる。
委員：国土交通省 GI 官民連携プラットフォーム技術部会幹事、能登 SDGs ラボ運営委員ほか

講師Ⅱ　平林　聡（ヒラバヤシ　サトシ）

1970 年群馬県生まれ
武蔵工業大学（現・東京都市大学）卒業後、外資系企業等を経て、ニューヨーク州立大学環境科学森林学スクール（SUNY-ESF）で修士号・博士号（環境資源工学）を取得。在学中より校内にある米国農務省フォレストサービス（U.S. Forest Service）に勤務し、卒業後は The Davey Tree Expert Company の研究機関である The Davey Institute との兼任。システムアーキテクト、環境シミュレーションモデル開発者として樹木による生態系サービスの研究および i-Tree の開発に従事。2012 年からアーバンフォレストの概念や i-Tree の日本国内での普及に尽力し、2018 年からは（株）東邦レオと U-GREEN の共同開発に従事。

講師Ⅲ　和田 清栄（ワダ セイエイ）

1974 年大阪府生まれ
東邦レオ株式会社 ディレクター
1996 年近畿大学商経学部商学科卒業、東邦レオ株式会社入社。2000 年より日本の建築における外断熱工法の事業化を通じて、省エネルギー建築の普及活動に従事。2017 年から緑化事業およびグリーンインフラの事業化に取り組み、2018 年～現在、U-GREEN をはじめとした緑化の新たな視点による価値創出のための事業化プロジェクトを発足、活動中。

コーディネーター　木田　幸男（キダ ユキオ）

1949 年大阪府生まれ
現：(一社)グリーンインフラ総研代表理事、㈱東邦レオ HD 専務取締役
金沢大学大学院自然科学研究科修了、博士(理学)、技術士(建設部門)
土壌・緑化技術の研究ならびに緑化資材の開発を主業務とする。学会活動を通じて官・学･民における緑化技術の推進、パイプ的役割を果たす。2018 年一般社団法人グリーンインフラ総研を設立、現：国土交通省グリーンインフラ官民連携プラットフォーム技術部会幹事、日本造園学会グリーンインフラ研究推進委員会メンバー
元日本緑化工学会副会長、前：都市緑化技術研究部会長